

## 鳥取県 美術館フォーラム

### 「みんなで考える 私たちの県民立美術館」

日時：平成30年2月6日(火)

午後1時～午後4時

場所：倉吉交流プラザ

#### 1 主催者挨拶

鳥取県教育委員長 中島 諒人

#### 2 共催者挨拶

県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会会長 石田 耕太郎

#### 3 美術館整備の取組状況説明

鳥取県立博物館長 田中 規靖

#### 4 基調講演「美術館はだれのもの？ —新生・美術館へのリクエスト」

小説家 原田 マハ

##### 【講師プロフィール】

1962年、東京都小平市生まれ。山陽女子高等学校、関西学院大学文学部日本文学科、早稲田大学第二文学部美術史学専修卒業。伊藤忠商事、森美術館設立準備室、ニューヨーク近代美術館に勤務後、2002年にフリーランスのキュレーターとして独立。2005年、『カフーを待ちわびて』で第一回日本ラブストーリー大賞を受賞、2012年、『楽園のカンヴァス』で第25回山本周五郎賞受賞。2016年、『リーチ先生』で第36回新田次郎文学賞受賞。美術界での経験と知識に基づいた一連の作品で多くの読者を獲得する。美術や芸術家を主題とした小説として『ジヴェルニーの食卓』（集英社、2013年）、『太陽の棘』（文芸春秋、2014年）、『暗幕のゲルニカ』（新潮社、2016年）、『アノニム』（角川書店、2017年）などがあり、最新刊はゴッホと日本人画商・林忠正を扱った『たゆたえども沈まず』（幻冬社、2017年）。

#### 4 パネルディスカッション

コーディネーター 中島 諒人

パネリスト 原田 マハ

加藤 哲英（鳥取県美術家協会会長・鳥取県美術館整備基本計画策定アドバイザー委員会委員）

吉村 寿博（吉村寿博建築設計事務所代表・鳥取県美術館整備基本計画策定アドバイザー委員会委員）

根鈴 輝雄（倉吉博物館館長・鳥取県ミュージアム・ネットワーク美術館等連携計画検討委員会委員）

富山 秀敏（三朝町立西小学校長・美術ラーニングセンター（仮称）検討委員会委員）

尾崎 信一郎（鳥取県立博物館副館長兼美術振興課長）

#### 5 質疑応答

#### 6 閉会

# 県立美術館整備の取組状況について ～「県立美術館」の創造をめざして～

鳥取県教育委員会  
理事監兼博物館長 田中 規靖

## 県中部に新しく県立美術館の整備を決定

鳥取県立美術館整備基本構想  
(昨年3月策定)  
様々な人々が訪れ、集い、楽しみ、  
交流する拠点となる美術館  
⇒「私たちの県立美術館」



今年度末に、  
「基本計画」を策定予定

建設場所：倉吉市営ラグビー場  
倉吉パルクシア・倉吉未来中心隣接

- ・全県から集まりやすい。美術館側からも各地域へのアウトリーチ活動が行いやすい。
- ・約2.2万㎡の整形地で、必要な機能を備えた施設を整備しやすい。
- ・観光施設や文化施設等と連携しやすい。



県民の創造性と  
鳥取県の魅力の向上

鳥取県の美術の  
継承と発信

内外の美術との  
接触と交流



小学生を招いた鑑賞授業



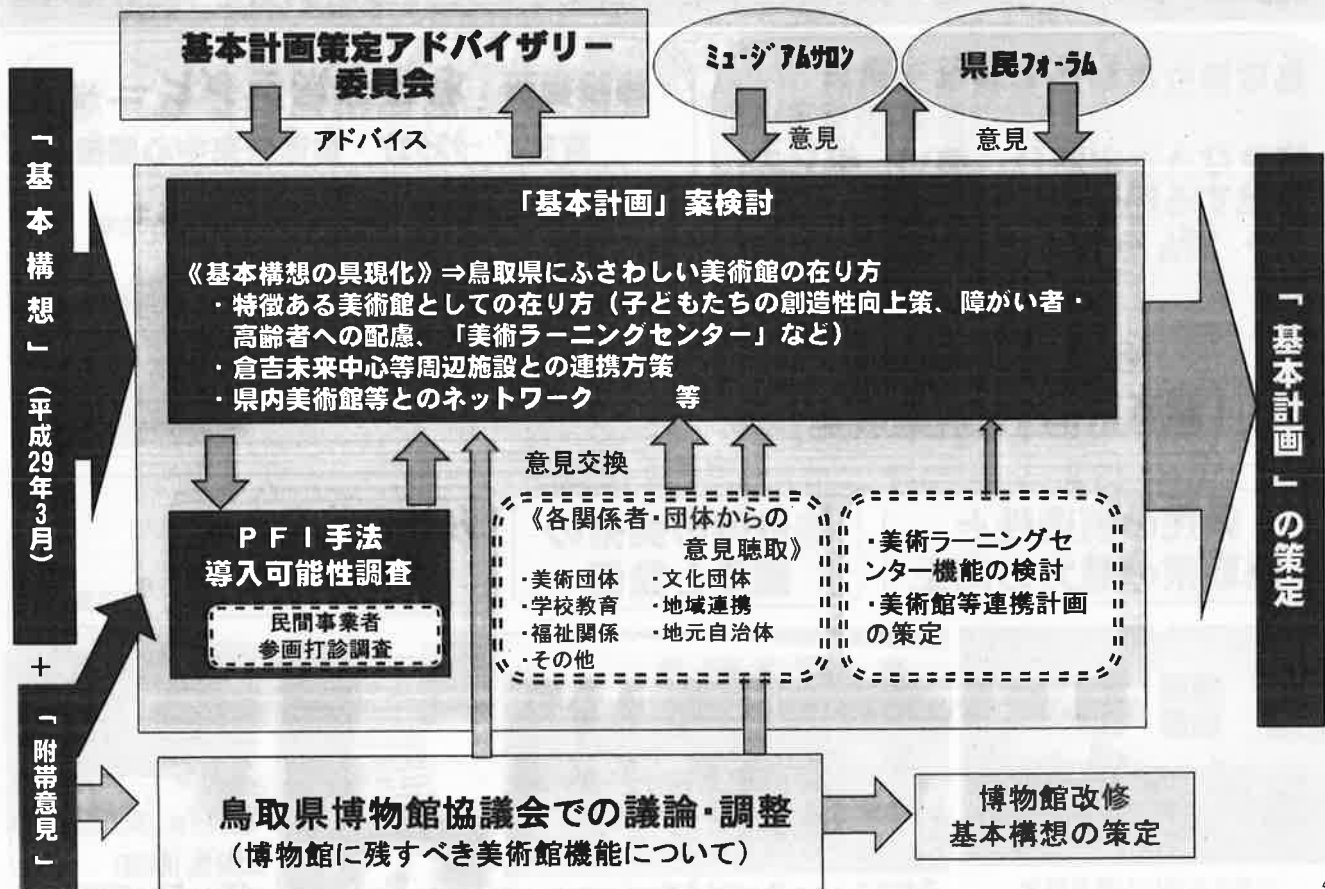
高校生キュレーターによるギャラリートーク



辻晋堂(版画)  
「長い長い行列」



## 「鳥取県立美術館整備基本計画の検討スキーム」



# 今後のスケジュール

## 平成29年度 美術館整備基本計画策定・PFI手法導入可能性調査

### ・整備基本計画

⇒ 建設地の基礎調査、目的・コンセプト、導入機能、運営計画、施設整備計画、整備運営手法の検討 等

### ・PFI手法導入可能性調査

⇒ PFI手法の導入に関する民間事業者参画打診調査、実現可能性の評価、事業スケジュールの検討、実施に向けた課題整理 等

## 平成30年度 美術館の整備手法の決定

〈以下、PFI手法を導入した場合のスケジュール感〉

## 平成30～31年度 PFI民間事業者の募集・決定

## 平成31～32年度 PFI民間事業者による基本設計・実施設計

## 平成33～35年度 PFI民間事業者による建設工事 (乾燥期間を含む。)

## 平成36年度 開館(予定)



鳥取の未来のために、  
美術館を。

5

## 美術館に求められる機能と特色

H29.11.22鳥取県美術館整備基本計画策定  
アドバイザー委員会資料より

### 「県立美術館」 → 未来を「つくる」美術館

～いろんな「つくる」で「ととりのアート」の「むかし」「いま」そして「みらい」をつむぐ～

#### アドバイザー委員会

- ▶ **子どもたちの育成**
  - 「子どもたちが美術館に触れて育ったと感じるような」
  - 「小・中学生は毎年来館」
  - 「親も子どもそれぞれが楽しめる」
  - 「地域の児童館との交流」
- ▶ **賑わいの創出(まち)**
  - 「鑑賞に限らず地元住民が来館できるスペース」
  - 「賑わいが求められる公的施設」
  - 「倉吉未来中心と行き来するよう」
  - 「美術館整備によって街に変化が起きる」
- ▶ **県民主体**
  - 「自分の、自分に近いところとして語ってもらえる」
  - 「来館を促すのではなく、住民に関わりを持ってもらう」
  - 「皆で何かをしよう・一緒につくろう」
  - 「ユーザーの立場としての市民連携」

#### 県内文化団体等

- ▶ **子どもたちの育成**
  - 「子どもたちが本物を見て心を動かす」
  - 「子どもたちが五感を通して芸術に親しめる」
  - 「子どもたちの作品を美術館に展示、収集保管」
- ▶ **まちづくり・地域活性化**
  - 「文化関係者だけでなく、あらゆる人、組織とつながった美術館」
  - 「美術館ができるのを機に周りを整備」
  - 「経済メリットが出るような連携を」
- ▶ **県民主体**
  - 「鳥取県にゆかりのある美術品の収蔵と展示」
  - 「県民みんなのものになるといい」
  - 「県民の参画を促すような仕組みとすべき」
  - 「県民のボランティアに基づくシステムの構築」

#### ▶ 人をつくる

#### ▶ まちをつくる

#### ▶ 県民がつくる

#### 基本的な在り方(基本構想)

1. 「ととりのアート」の魅力を知り、大切に守り、誇りを持って 県内、県外そして世界へと発信するとともに、より多くの人々に内外の多彩で優れたアートに触れる機会を提供する。
2. 人々が思い思いに楽しみと夢と喜びを見出すことができ、次代を担う子どもたちが優れたアートと出会い、想像力や創造性を育む場所となる。
3. 地域に根差し県民のアイデアと愛情で運営される、「私たちの県立美術館」となる。
4. アートによって街を目覚めさせて文化的感性の高い賑わいのある地域づくりに貢献する。
5. 鳥取県創生の拠点となるよう、大胆かつ柔軟に新たな可能性を求め、次代に向けて新たな地平を拓くことを目指す。

6

# 「私たちの県民立美術館」

## 未来を「つくる」美術館

～いろんな「つくる」で「とっとりのアート」の「むかし」「いま」そして「みらい」をつむぐ～

### 1. 人を「つくる」

#### I. 「みるひと」をつくる：多くの人を訪れる美術館に

- ①魅力的な企画展示
- ②県民の誇りと未来を創出する企画展示
- ③通常の展示が鑑賞しにくい方に配慮した展示
- ④従来の美術館像にとらわれない賑わい機能の創出
- ⑤オープンな美術館

#### II. 「つくるひと」をつくる：さまざまな創作者を支援しそだてる

- ①創作作者の息遣いを感じられる美術館
- ②子どもたちや県民の美術創作の支援
- ③共生社会をめざした障がい者アートの支援
- ④幅広い芸術表現との連携

#### III. 「みらいの才能」をつくる：未来人材教育プログラム

- ①子どもたちに身近な美術館
- ②つくる・みる・まなぶ、美術との多様な関係を感じられる美術館に
- ③世代や地域を超えた、「とっとりの美術」をまなび・つくる環境を

#### IV. 「居場所」をつくる：時間を過ごすことが楽しめる

- ①サードプレイスにもなる心地よい美術館
- ②多機能な美術館

### 2. まちを「つくる」

#### I. 周辺施設とまちをつくる：周辺施設とともにまちをささえる

- ①倉吉パークスクエアと一体となったイベントの開催
- ②大御堂廃寺跡と連携したのびやかで広がりのある美術館
- ③倉吉市立図書館等との連携

#### II. 地域とまちをつくる：地域の魅力をたかめる

- ①白壁土蔵群等との連携
- ②屋外展示等における連携
- ③ポップカルチャー資源の活用
- ④本県ゆかりの作家にまつわる大賞との連携

#### III. 他館とまちをつくる：連携により地域の魅力をたかめる

- ①県内の美術館と連携した広域的展開
- ②美術館の相互交流
- ③県外美術館との交流
- ④移動美術館の実施
- ⑤他施設を活用した展開

### 3. 県民が「つくる」

#### I. 県民が誇れる美術館

- ①誇りに思える美術館に
- ②みんなが楽しめるオープンな美術館

#### II. 県民が参加できる美術館づくり：県民とともにささえる

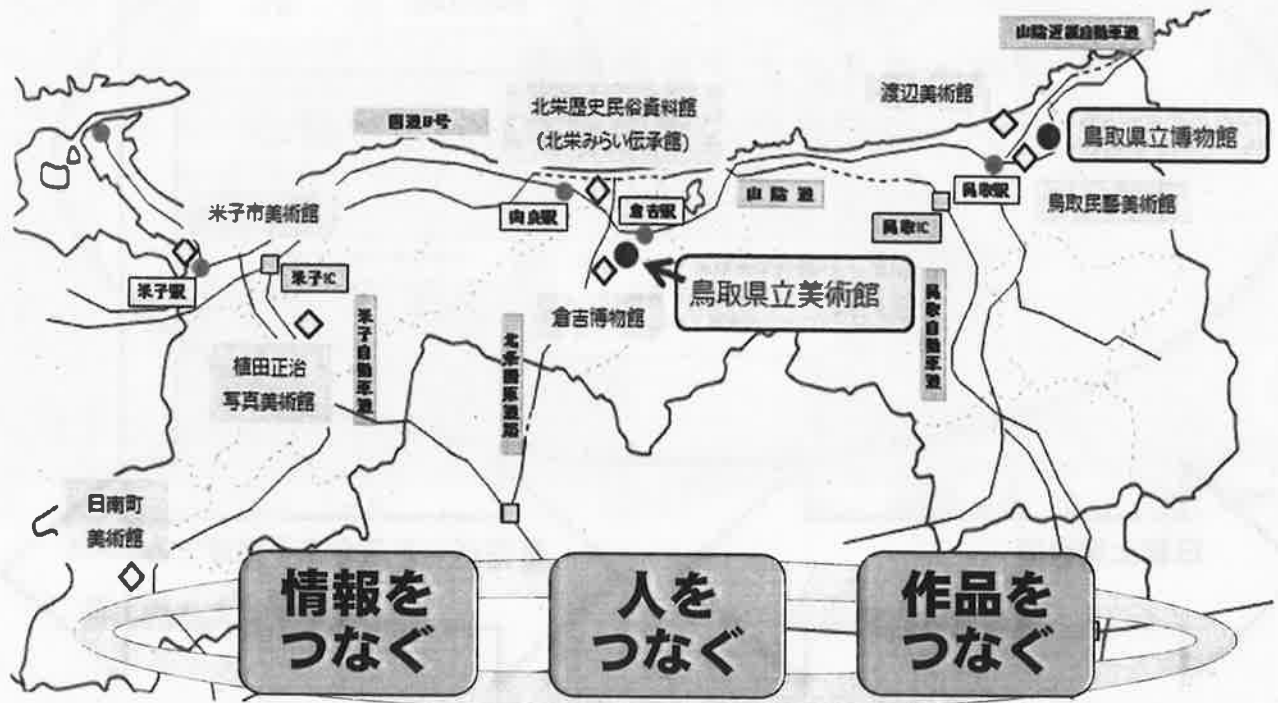
- ①県民による美術館づくりへの参加
- ②つくるプロセスをオープンに
- ③県民が支え育てる美術館
- ④県民と一体となった展示の取組み
- ⑤ワークショップ作品の展示活用

#### IV. 展示・収蔵品とともに成長していく美術館 ～施設完成がはじまり～

- ①収蔵品を増やし成長する美術館
- ②収蔵品とともに研究を深める美術館
- ③収蔵品を最善の状態の後世に伝える美術館、展示や活動とともにいつもつくり出している美術館

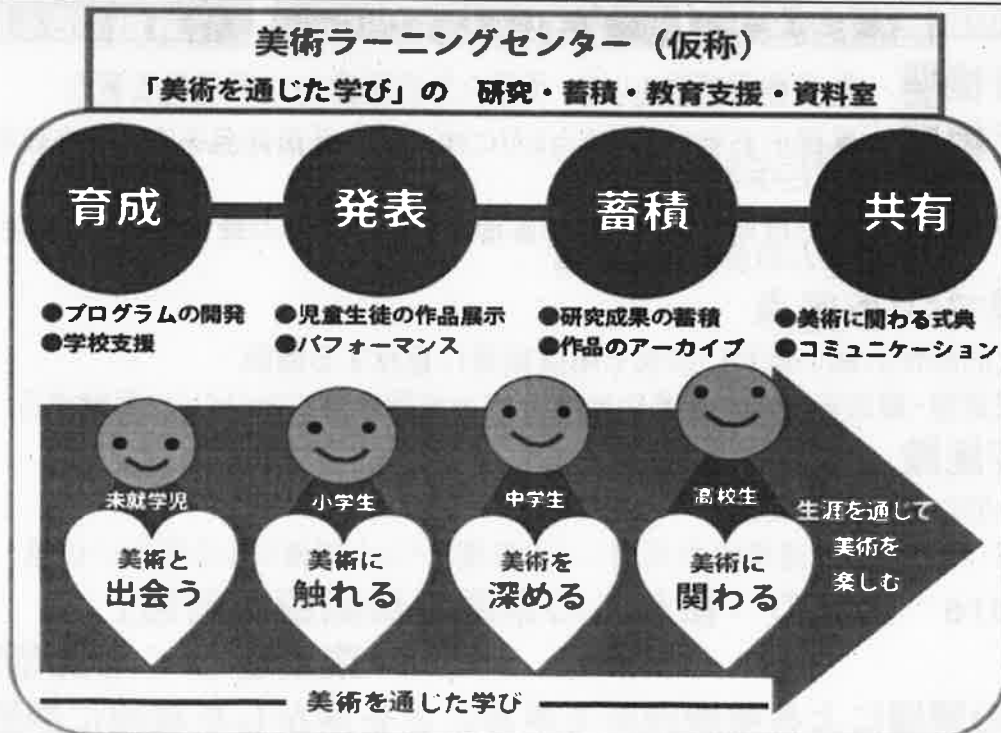
# 鳥取県ミュージアム・ネットワーク

県民のみなさんが県内どこにいても美術館のサービスが享受できるよう、また、「とっとりのアート」の県外への発信を強化するため、県立美術館を拠点に、美術系文化施設との協力連携の取組を進めます。

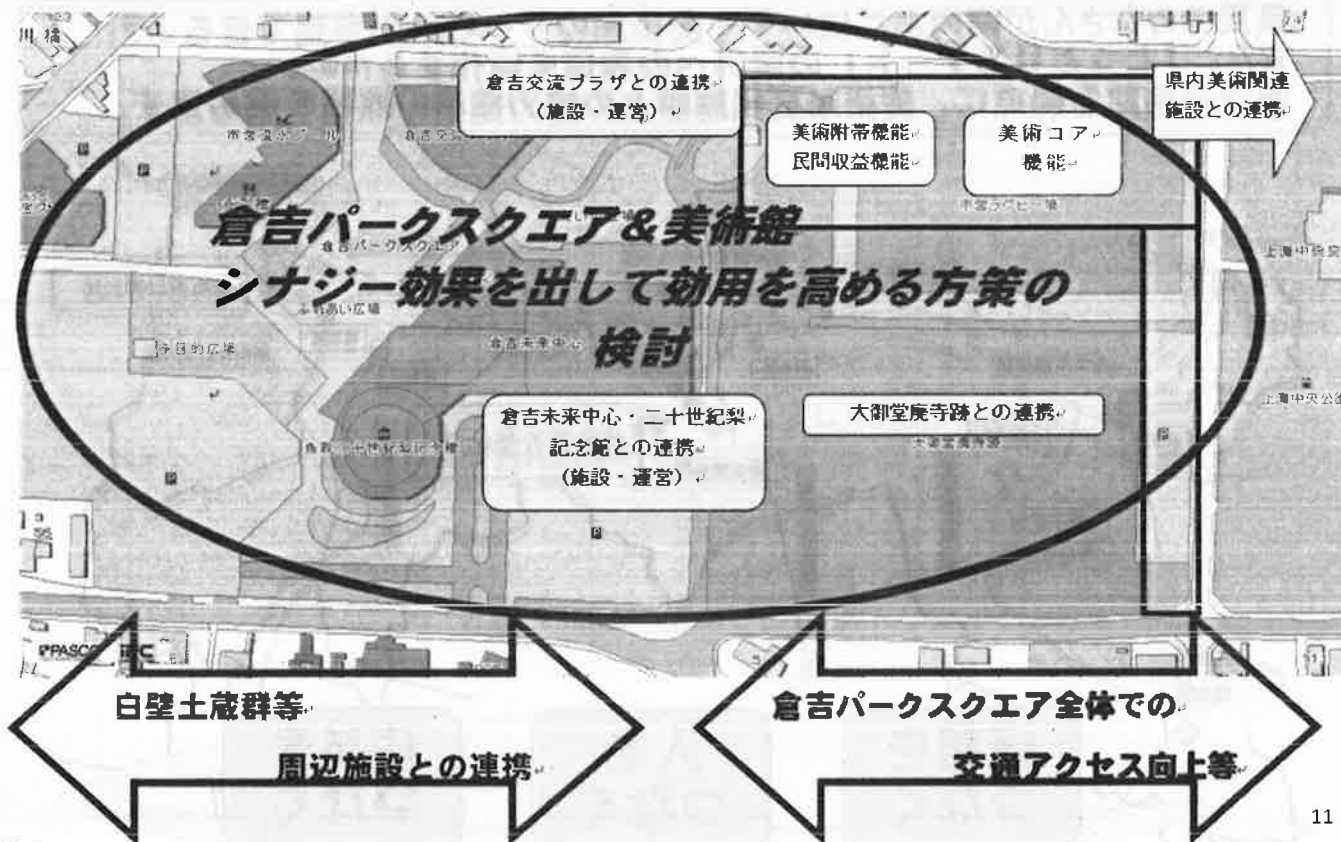


## 美術ラーニングセンター機能の設置

子どもたちと美術との繋がりをより豊かなものとするために、美術ラーニングセンター(仮称)を設置し、想像力・創造性を育むための「美術を通じた学び」を支援します。



# 美術館が求められる役割と活かし方 1



11

# 美術館が求められる役割と活かし方 2

## ★美術館が果たす多様な役割とは何でしょうか？

1. 子どもたちに  
本物の感動と未来を！

2. 1周遅れの最先端を  
めざしたい！

3. 地域の発展に  
貢献できる施設へ！

①教育機関： 社会教育施設として、子供たちの想像力や創造性を育む

②研究機関： 県民のお宝であるとつとりにゆかりの美術作品を守り調査研究を行い後世に伝える

③展示施設： 研究成果を活かした企画展示、主に県内の美術愛好家・美術創作者の皆さんの発表機会の場

④地域づくりの拠点：

- ・文化的感性の高い賑わいのある地域創造に貢献する機能
- ・地域資源・周辺施設との連携や地域の協力支援を得て街づくりに貢献する

⑤集客施設：

- ・魅力的な展覧会の開催
- ・地域・周辺施設の連携協力支援により各種イベント開催による賑わいの場

⑥&More 各自の「私たちの県立美術館の創造」

⇒未来をつくる美術館

地域の皆様による美術館ができることを活かした取組に期待！

12

## 鳥取県立美術館についてのご意見をお聞かせください

### ご来場の皆様

本日は、鳥取県 美術館フォーラムにご来場いただきまして誠にありがとうございます。

当館では、現在検討中の美術館が皆様にとってより魅力的なものとなるためにアンケートを実施し、皆様からいただいたご意見やご要望などを今後の美術館計画の参考にさせていただきたいと考えております。

お手数ではございますが、ぜひ自由にご記入いただき、お帰りの際に回収箱にお入れいただきますようお願い申し上げます。なお、この調査は、個人を特定する内容は含まれておらず、また、他の目的に使用することはありませんので、皆様のご協力をお願いいたします。

鳥取県立博物館長

<< 質問にお答えいただきました後、アンケート回収箱にお入れください >>

### 〈1〉 お客様のことについて教えてください。

下のそれぞれの質問で、あてはまる答えを1つだけ選び、数字を○で囲んでください。

① 年齢は	1 : 20歳未満	2 : 20代	3 : 30代	4 : 40代	5 : 50代	6 : 60代	7 : 70歳以上
② 性別は	1 : 男性	2 : 女性					
③ 職業は	1 : 小学生	2 : 中学生	3 : 高校生	4 : 大学生 (短大・専門学生含む)	5 : 会社員		
	6 : 公務員	7 : 自営業	8 : 教職員	9 : 主婦 (夫)	10 : 無職		
	11 : その他 ( )						
④ お住まいは	1 : 県内東部	2 : 県内中部	3 : 県内西部	4 : 兵庫県	5 : 大阪府		
	6 : 鳥根県	7 : 岡山県	8 : その他 ( )				
⑤ あなたは1年間にどれくらい美術館やギャラリー等に行きますか	1 : 行かない	2 : 1~2回	3 : 3~5回	4 : 6回以上			

### 〈2〉 本日のフォーラムや美術館について教えてください。

それぞれの質問で、あてはまる答えを選び、数字を○で囲んでください。

① フォーラムの冒頭で説明した美術館の検討状況について、どのように思われましたか。ご自由に感想をお書きください。

② 基調講演やパネルディスカッションについて、どのように思われましたか。ご自由に感想をお書きください。

③ 新しい美術館に期待することや要望などについて、ご自由にお書きください。

【ご協力ありがとうございました】